

第一章 国指定文化財

一 鬼ヶ城暖地性シダ群落

種別 天然記念物

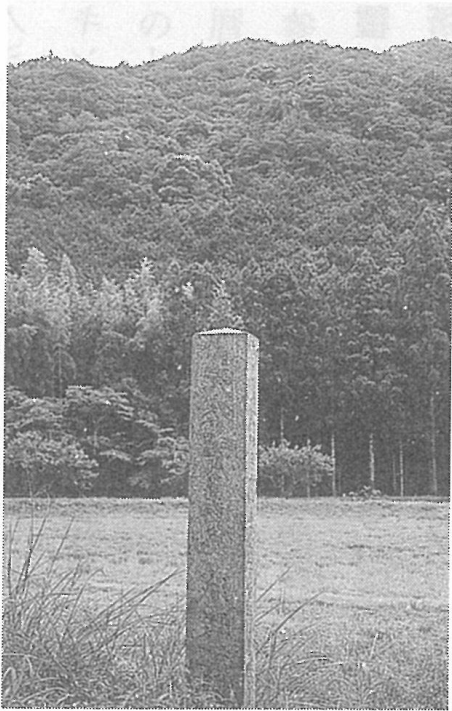
所在地 押淵字鬼ヶ城一三八三ノ一、同二

指定 昭和三年一月一八日

ここに高さ三呎、幅一〇呎、奥行九呎ほどの洞穴があり、鬼ヶ城と呼ぶが、この附近一帯に絶壁が多く、その岩上には暖地性のシダ植物が豊富に生育している。

本町押淵出身の広出泰助が早くに発見、紹介したものであるが、稀有な珍種も多く、シダ植物の宝庫として知られる。当時は暖地性シダ類の北限ともみられ、その保護のため多くの植物学者の協力を得て、昭和三年、国の天然記念物として指定された。

岩壁の間にはヒカゲツツジ、ホンシヤクナゲなども茂り、五月ごろ、美しい花を咲かせる。ここで、指定地内の主な植物を、大正一三年の『天然記念物調査報告書』より挙げておこう。今では盗採のため見られ難いものもある。



鬼ヶ城の記念碑から鬼ヶ城シダ群生地を望む

熱帯性植物

リウビンタイ、キクシノブ、*アツイタ、*ナンカクラン、*ナチシダ、シタキシソウ、*キシユウシダ、ケイビラン、ナ
 ゴラン、ミヤマムギラン、*ナチクジャク、フモトカグマ、クルマシダ、フモトシダ、イワヒトデ、トウゴクシダ、
 クリハラン、ミヤマノコギリシダ、ヒトツバ、ヌリトラノオシダ、リヨウメンシダ、ウスヒメワラビ、コバノイ
 シカグマ、*イブキシダ、シケチシダ、マルバベニシダ、イワヒメワラビ、イワガネソウ、イワガネゼンマイ、シ
 シラン、ヘラシダ、ホソバイタチシダ、ミヤマノキシノブ、オウレンシダ、オオハナワラビ、ヤワラシダ、ハシ
 ゴシダ、ハリガネワラビ、*ヌカボシクリハラン

着生気生根蘭類ほか

*マメツタラン、*セツコク、*ムギラン、*フウラン、*ミヤマムギラン、*サワララン、*ツクシシヤクナゲ、ハナノキ、
 ミミズバイ、タイミンタチバナ、イズセンリヨウ、ルリダマノキ、カデキ、*カンザブロウノキ、ヤマモモ、トキ
 ワガキ、ズイナノキ、カンコノキ、ツバキ、チャ、モツコク、*ウバメガシ、*タラヨウ、*ゴヨウマツの一種、へべ
 ガヤ、リンボク、ソヨゴ、カラスザンショウ、ヤマビワ、シ
 イ、ヒサカキ、サカキ、リヨウブ、アラカシ、オオナラ、ア
 サマリンドウ、*コモノゴケ、マキノゴケ、地衣

昭和四二年刊の『三重県の文化財』によると、*印のもの

のほか、熱帯性植物ではハカタシダ、コウザキシダ、オオフ
 ジシダを挙げ、また上に挙げたほかでは、オガタマノキ、ヒ
 メユズリハ、バリバリノキ、ヒメシヤラ、ホルトノキ、クマ

ノミズキ、ルリミノキ、ホンシヤクナゲ、ヒカゲツツジ、カイナンサラサドウダン、コアブラツツジ、イマナン
キンナナカマド、クモランを挙げている。

二 細谷暖地性シダ群落

種別 天然記念物

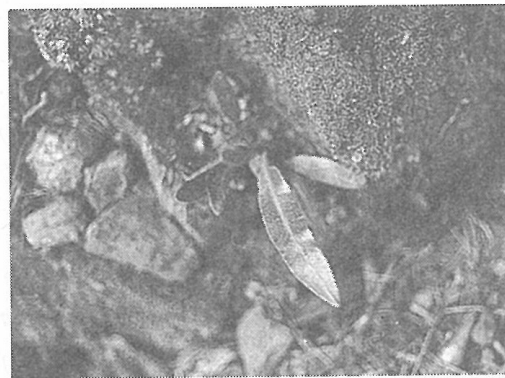
所在地 押淵字細谷一五六三ノ一、一五六一、一五六

二ノ一

指定 昭和三年一月一八日

鬼ヶ城より約二¹/₂西方の山間地で、この辺りは杉の造林があるが、その中に岩石が露出して造林のできな
い場所があり、この岩石地に暖地性シダが繁茂してい
る。

鬼ヶ城とほぼ同様の植生で、リュウビнтаイの生育
が特に注目され、シダ植物以外では、ここはヒカゲツ
ツジ、ホンシヤクナゲが多く、ユリ科のケイビランも
まれに見られる。



アツイタ



キクシノブ



リュウビнтаイ